

事業対象者・要支援 1 認定者のサービス例外利用の取り扱いについて

(※ **資料 7** 「サービス利用の考え方」の△部分) について

【例外にあたるもの】

【訪問型】	・ 基準緩和（週 2 回） ・ 従前相当（週 1 回） ・ 従前相当（週 2 回）
【通所型】	・ 従前相当（週 1 回相当）

【例外に該当する事由】

- ①退院直後等で集中的にサービスを利用することが自立支援につながるため
- ②身体面・医療面での介入が必要であるため
- ③複数の生活支援サービスが必要であるため
- ④自宅での入浴が困難であるため
- ⑤その他

サービス例外利用については、「身体状況が〇〇だから」というように、一律的な判断をするものではありません。各利用者の個人的な要因、環境的な要因等をふまえて、緊急性・代替性等を勘案し総合的に判断するものです。

【例外利用の流れ】

地域包括支援センターに相談（包括担当者が調書を作成）



地域包括支援センター内で会議（管理者含む）




地域包括支援センターから結果報告（適否・期間等）



ケアプラン作成

（参考）具体的なスケジュールの例（現プランの期間が 4 月 30 日までの場合）

 <p>4 月初め</p> <p>5 月 1 日</p>	「要支援 1」の認定 or 「事業対象者」該当
	評価・アセスメントを通じて例外利用が必要と判断
	地域包括支援センターに相談
	地域包括支援センターから結果報告
	ケアプラン作成
	担当者会議実施
	サービス利用開始

※例外利用についての検討結果は、相談日から原則 1 週間以内に地域包括支援センターから各居宅介護支援事業所にご連絡致します。